



東京臨海ロータリークラブ 東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ



SERVE TO CHANGE LIVES



クラブ会長ターゲット
「ロータリアンとしての成熟」
"REACH MATURITY
AS A ROTARIAN"
2021-2022年度
東京臨海ロータリークラブ会長
佐藤 大輔



国際ロータリーテーマ
「奉仕しよう みんなの人生を
豊かにするために」
"SERVE TO CHANGE LIVES"
2021-2022年度
国際ロータリー会長
シェカール・メータ



衛星クラブ議長ターゲット
「クラブライフを楽しもう」
"Enjoy club life"
2021-2022年度
東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ議長
坂本 康朋

2021年11月24日
東京臨海 RC 【第1221例会】
東京臨海北斗 RSC 【第30回例会】

東京臨海 RC
創立：1994年8月8日
会長：佐藤 大輔
副会長：杉浦 孝浩
幹事：勝間田 健一
プログラム
構成委員長：田中 紘太
(会報担当)

東京臨海北斗 RSC
創立：2020年12月18日
議長：坂本 康朋
副議長：小松 啓祐
幹事：勝間田 健一

11月24日の卓話

ガバナー公式訪問

「ガバナー講評」
国際ロータリー第2580地区
ガバナー 若林 英博 様

12月3日(金)の卓話

臨海4R合同例会

「江戸川区児童相談所について」
江戸川児童相談所(はあとポート)援助課長
上坂かおり様

《2021年11月17日例会報告》
...荒井知久ガバナー補佐訪問...
東京臨海 RC 第1220回
東京臨海北斗 RSC 第29回
司会：虻川良太郎会員



- 点鐘：東京臨海 RC 佐藤大輔会長
東京臨海北斗 RSC 坂本康朋議長
- ロータリーソング斉唱「それでこそロータリー」
：ソングリーダー：今井副委員長
- 「四つのテスト」斉唱(歌)
- 「ロータリーの目的」東京臨海 RC 抜萃 Ver. 唱和
：杉浦副会長



■来賓・ゲストスピーカー紹介：佐藤大輔会長

- ガバナー補佐 荒井知久様
- 分区幹事 山本昌之様
- ビジター紹介：寺田(雄)会員・尾身会員
本日は、いらっしやいませんでした。
- ご挨拶
・ガバナー補佐 荒井知久様
・分区幹事 山本昌之様



- 会長報告：佐藤大輔会長
・鈴木孝行様に新本社落成のお祝をお渡しいたします。
- ・斉藤実様に一般財団法人比国育英会バギオ基金より、
第74回感謝状が届いておりますので贈呈致します。





- ・年次総会を12月8日忘年家族会開始前の17:30より東武ホテルレバント東京にて開催致します。

■幹事報告：勝間田幹事

- ・11月の理事役員会報告を11月11日に会員皆様へメール送信致しました。
- ・今年度ガバナー公式訪問は、次週11月24日です。この日は、例会前の11時からクラブ協議会を開催致しますので、臨海RC、臨海北斗RSCの全会員様は出席をお願いします。
- ・12月3日(金)は、東京臨海西RC創立4周年記念例会に当たりますので、東京臨海RC・東京臨海東RC・東京臨海西RC・東京臨海北斗RSCの臨海4R合同例会です。出欠の変更がある方は、随時お知らせ下さるようお願い致します。
- ・地区大会フォトコンテストのご案内を会員皆様へメール送信致しました。個人での応募になりますので、応募される方は12月15日までに各自でお願い致します。



■委員会報告

- ・青少年奉仕委員会(司会者代読)
第2580地区より、今年度のRYLAセミナーは、現在の状況を考慮し、中止との連絡が入りました。

■出席状況報告：米衛会員

東京臨海RC

会員数：57名
出席：35名
欠席：22名
出席率 64.81%

東京臨海北斗RSC

会員数：23名
出席：8名(例会場：2名 ZOOM：6名)
欠席：15名
出席率 34.78%

■ご挨拶：鈴木孝行会員

先般の会社の落成式に多数おいでいただきありがとうございました。

29歳で瑞江に本社を立て、今年に改めて建てました。年明け現役を引退し、魚釣りに興じたいと思います。公益財団に多数の寄付を頂きありがとうございました。あっという間に360万が集まり、青少年に使ってまいります。10倍のクラブ基金を出し

たいと思います。
ありがとうございました。



■ニコニコBOX報告：伊佐委員

(ご意向)本日は宜しくお願い致します。：ガバナー補佐 荒井知久様、分区幹事 山本昌之様

(ご意向)荒井ガバナー補佐、山本分区幹事、本日はよろしくお願い致します。：佐藤会長、杉浦副会長、勝間田幹事、伊藤会員、渡辺会員、井上会員、齊藤会員、須藤会員、米衛会員、今井会員、篠塚会員、柴田会員、寺田雄司会員、虻川会員、田中会員、村社会員、白幡会員、内海会員、入澤会員、坂本康朋会員、秋田会員、佐久間裕章会員、大貫会員、田村会員、大西会員、高橋会員、酒井会員、樋口会員、山田晃久会員、尾身会員、白井会員、伊佐会員



【31件 56,000円 今年度累計 549,000円】

■卓話 (紹介者：佐藤大輔会長)

「私のロータリー」

ガバナー補佐 荒井知久様(東京江戸川RC)

◇ガバナー補佐 荒井知久様

皆様こんにちは。

今年度、東分区担当の江戸川RC所属の荒井と申します。どうぞよろしくお願い致します。

本日は、斎藤さん、鈴木さんは臨海西で話したので同じ内容となります。

自己紹介ですが、父 悦三と、母 美枝子の次男として生まれました。鈴木大先輩の一つ下になります。

もちろん妻は一人です。

長男は24歳、長女は22歳になります。

学歴は江戸川区立第二葛西小学校、千葉日本大学第一中学校、千葉日本大学第一高校を卒業しました。

趣味はゴルフ、お酒、旅行、スポーツ観戦です。

昨日は杉浦さんと楽しませていただきました。

高校の時に天皇の料理番を見て、料理の道に進みたいと思い、帝国ホテルの料理長をご紹介いただき、料理の道に進みました。勉強は嫌いでしたが、フランス料理を学ばならフランス語を学べということで神田外語学校に通っていました。お客様では芸能やスポーツなどすごい方が来て

いました。

昭和56年に入社して、3年後に蒲田ステーションホテルに行かせていただき、62年に地元で自分のお店をやりたいと思い、その後、10年くらいやっていたのですが、父が資産を持つ会社を作ってくれ、不動産の道に進むことになりました。

父の会社では2年半くらい勉強させていただきました。会社は荒嘉と申しまして、62年に有限会社荒嘉を設立、平成6年に入社し、翌年常務に就任し、その後代表につかせていただきました。

RCは30代で入れさせていただき、2001年に入会しました。私が入会したときは75名くらいいましたが、現在は40名ほどと寂しくなってきました。

その後も2010年に地区副幹事、2016年に江戸川 RC 第53代会長をやらせていただきました。

2020年に東分区 IM 実行副委員長、2021年に現在の東分区ガバナー補佐をやらせていただいております。

これまで病気はたくさんしてきました、ドクターヘリも2回乗りました。ゴルフ場で具合が悪くなり、血圧も250くらいで、これでは危険だとヘリで連れていかれました。その後も、ヘルニア、人工関節、ベル麻痺などを患い、2021年には旅行もゴルフも大好きで、コロナにも感染しました。少し熱があると思ったのですが、レントゲンとっても問題なくて、あまりにも数値が悪いといわれ、PCR 検査をしたところ陽性で、すぐに救急車を呼んでいただきました。1日遅れたら死んでいたと思います。

娘が、現在も味覚、嗅覚障害など6か月以上引きづっています。いまでも医療病院で治療をしていますが自分のせいでこうなってしまう、申し訳ないと思っています。退院したときにも自分ではないくらい痩せましたが、人間ってすぐに戻るんですね。

体力もなく、400m歩くのがやっとでした。

その後私たちのRCですが、100歳のお祝いも行うなど盛大な会も行いました。

国際大会でも私のわがままでセントアンドリュースでゴルフができるなら行くといって、参加しました。

江戸川RCでは4つの姉妹クラブがあり、台湾、サンフランシスコ、韓国、日本ではいわきRCとしています。交換留学生を迎えたり、送ったりしています。

たった10日ですが、成長が見られます。

江戸川RCでは釣った魚を食べる会というのが年に3回くらい行っています。

江戸川区長への表敬訪問、サンフランシスコにも表敬訪問をしています。

青少年交換学生では、ハンガリーの方、アメリカの方、ブラジルの方を受け入れました。

米山奨学生では、中国の方を受け入れ、現在、日本の企業で働いています。

すごく優秀な方で活躍してくれています。

今年度、若林ガバナーが推進している目標として、大きな目標「世界で、日本で、地域で、良いことをしよう」コロナで困っている人を支援しよう。

1. 新型コロナウィルスで困っている人々を支援しよう
2. ポリオ根絶に向けてがんばろう
3. 元気なクラブになろう

4. 会員増強・クラブ拡大をする覚悟をもとう

5. ロータリーの公共イメージをアップさせよう

こちらを掲げられており、ポリオの根絶運動に関しても若林ガバナーはこの活動を本当に頑張っています。

地区の目標としては、

新型コロナウィルスで困っている人々を支援しよう

1. ロータリーの力でコロナ被害者への支援を優先
 2. クラブ単独では困難な支援事業に地区が協力
 3. 地域社会で共感を呼ぶ奉仕活動の共有に地区が協力
- 具体策としては

1. 地区社会奉仕委員会にコロナ対策委員会を設置
 2. 地区補助金はコロナ禍救済プロジェクトを優先
- を推進しております。

またロータリー財団の活動として、皆様には大変恐縮ですが、今まで年度で230ドルのご負担でしたがポリオ基金もあり280ドルを出していただき、今年度に終わらせたいと思っています。

元気なクラブになろう！といった点では、わたくしどもの倍近く臨海さんはいるので、勉強させていただければと思います。公共イメージとしてもイメージアップしていこうとしています。

東日本大震災も2021年度で、まだ10年しか過ぎていませんが、ロータリー希望の風奨学金をしらない方も多いようです。

こちらは東日本大震災で保護者をなくした孤児の大学、専門学校に進学予定の方には5万円を毎月給付します。といった制度です。最大48か月払っていきます。

あと12年間はやっていきますので、みなさんお気持ちでもよいので出していただければと思います。

こちらみなさまぜひ、ご協力お願いします。

そろそろお時間となりますが、来週もお伺いさせていただきますので今後ともよろしくお願いいたします。



■ 点鐘：東京臨海 RC 佐藤大輔会長
東京臨海北斗 RSC 坂本康朋議長



ようこそガバナー

2021-2022 年度

国際ロータリー第 2580 地区

わかばやし ひでひろ

ガバナー 若林 英博氏
(東京麹町 RC)



生年月 1951 (昭和 26) 年 4 月

本籍地 京都府

学歴 同志社大学工学部電気工学科 卒業

勤務先 株式会社 若林佛具製作所 代表取締役会長
(創業天保元年 1830 年)
株式会社 若林工芸舎 取締役

ロータリー歴(職業分類: 佛壇佛具、文化財修復)

1991 年 5 月 東京麹町ロータリークラブ 入会
2001-2002 年度 東京麹町ロータリークラブ 幹事
2005-2006 年度 分区幹事
2008-2009 年度 地区職業奉仕委員会 委員
2009-2010 年度 地区職業奉仕委員会 委員
2011-2012 年度 地区環境保全委員会 副委員長
2012-2013 年度 地区職業人育成委員会 委員長
2013-2014 年度 東京麹町ロータリークラブ 会長
2015-2016 年度 地区職業奉仕委員会 委員
2015-2018 年度 クラブ創立 50 周年統括副委員長
2019-2020 年度 ガバナー補佐

ロータリー財団メジャードナー
ポール・ハリス・ソサエティ
ベネファクター
米山功労者・マルチプル

(2021 年 3 月現在)

秋の家庭集会報告

第 10 グループ議事録

2021 年 11 月 10 日 (水) 実施

テーマ『ロータリアンの行動規範: クラブ活動への参加』

参加者: 佐藤正樹 (リーダー) 白井 (サブリーダー)
大澤、寺田千春

白井正三郎サブリーダー進行の下、家庭集会が始まりました。

今回の家庭集会は参加者が 4 名と少なかったのですが、参加者全員が業種や年齢が違うなか、主に各会員の生い立ち自己紹介を中心にお話がありました。

当クラブの偉大なロータリアンの方々の思い出話や普段の例会では聞くことの出来ないお話で大変盛り上がりしました。

・佐藤会員

幼少の頃から社長になりたかった。

27 歳で会社を創業。若くしてロータリークラブの会員になり、諸先輩方に色々なことを教わった。

・大澤会員

臨海ロータリークラブに入会して 28 年目。

ロータリークラブには自分にはない物を持っている人が沢山いる。色々なご縁ができ、人生に広がりができる。

・白井会員

らいおんは一とについて。現代の子供達が抱える問題に地域全体で取り組んでいる。

ご支援いただいている当クラブの会員の方々にとっても感謝している。

・寺田会員

佐藤会員と同じく 20 代で会社を創業し、今年で 30 歳になった。

これから様々な問題にぶつかると思うが、その都度当クラブの先輩方に相談させていただきながら問題を解決していきたい。

第 3 グループ議事録

2021 年 11 月 17 日 (水) 実施

テーマ『ロータリアンの行動規範: クラブ活動への参加』

参加者: 勝間田 (リーダー)、櫻田 (サブリーダー)、
吉田、樋口、菅原、山田政弘 (文責)

1. 家庭集会の主旨説明 (勝間田氏)

人となりを知ることによって親睦を深める

「ロータリーとは何?」ロータリーに関する知識を深める

2. ロータリーの歴史/概要の説明 (勝間田氏)

1905 年にシカゴで設立。4 人でスタートした~等ロータリークラブの歴史、人数等の説明

3. 自己紹介 (各自)

各自自己紹介

4. なぜロータリーに参加する必要があるのか（ロータリーに参加する意義）（各自）

- ・ロータリーで週報を担当するようになって、1年休まず出ることになった。ただ、やると、「あいつ頑張っている」となってしまう、次の年には衛生クラブ作る、となり、初代幹事になった。そこから、色々なことを知らないとい何もできないので、忙しくやっていた。今年は臨海の幹事になった。今では毎日事務局から20通くらいメールが来る。時間が取られる。忙しくやっていると自分の仕事ができなくなってくる。そうすると、「どうしようか」となって自分の仕事を誰かに振らないといけなくなる。経営者としては雇用を増やしていかなければならないので、時間の配分、優先順位などを効率的にこなすようになっていく。（それ以前はできなかったことができるようになる）また、社員が任せた仕事ができるようになってくる。（勝間田氏）
- ・ロータリーに入る前と入ってからで事業は伸びているのか？（樋口氏）
→毎年伸びている（勝間田氏）
- ・社業放置と効率的経営ができるようになる、という境界線は何か？（山田）
→会社組織に勤めたことがないので、会社として必要な仕組みがわからない。
人材についても扱い方が分からず、悩むことがあった。そんな時に識学に出会って、組織マネジメントを習得していった。
ロータリーに参加するという意味は、お金払って参加して、奉仕という切り口で寄付したりとか、色々やっているが、例会とかに出ないとどうしても他人事になってしまう。毎回出ていると、奉仕したこと（寄付）がどうなっているのか、とか、関心を向けるようになる。
経営者は社会から評価されることが重要。ロータリーは地域から評価されることを重視するなど、そういう視点があるので、ロータリーには参加した方がよいと考えている。（勝間田氏）
- ・メンバーからお仕事をいただいたことは、ちょっとしたことくらいしかない。（ガッツリはない）
ただし、仕事をもらうことが参加する目的ではなく、色々な職業の方と話して、いろいろな考え方とか悩みとか、について教えてもらい、自分の事業で生かしていこうと思い、聞き耳立てて、会に参加している。
- ・自分が常時接している経営者とはまた異なる層のコミュニティであり、皆が向上心、好奇心持って真摯に経営に取り組んでいる、という印象を持った。
そういったコミュニティで、仕事は仕事、遊びは遊

び、というメリハリはつけつつも、気づきや刺激を相互に与え、与えられる機会を得たいと思い、入会した。（山田）

- ・（ロータリーに参加することが）人の役に立つ事になる、という話をもらい、すごく良い、と思った。
自分でも役に立てるのかな、と考えた。社長ではなく、司法書士という有資格者および専門職という立場としてできること（役に立つこと）をしたいと考えている。（吉田氏）
- ・鈴木代表の影響が一番。今年の1月に代表を引退する、という言葉が発した重みが大きかった。グループでお世話になっている一人一人がもっと成長すればグループが発展する。本当の意味での経営者としての考え方を自分の中に落とし込まないといけない、と考えている。それを得るためにロータリーに参加した。（樋口氏）
- ・学ぶ、ということが意義。（菅原氏）
→鈴木代表がいて、守られている、という部分がある。
鈴木代表からはロータリーのメンバーと自分たちとは「覚悟が違う」と言われた。まさにその覚悟を学ぶためにロータリーに出て学ばせてもらいたい。（樋口氏）
→ロータリーは先人たちの一言一言が学びになる。また、その先人たち自身も「学ぶことが多々ある」と言われる。すごい場だと思う。
どんな人を育てたかでその会社の価値がわかる、と言われたが、その言葉も胸に響いている。（勝間田氏）
- ・佐久間会長のスピーチなどを聞いていても、あれだけ熱いことを言える、というのがすごいと思った。
そういうことも含めてのロータリーなのかなと思う。（樋口氏）
- ・この人とは合わないだろうな、という人でも、こういう会で酒を酌み交わしたりすると、違った一面が見えたり、親交が深まったりする。親睦は深めていったほうがよい。（勝間田氏）

当クラブ例会変更

当クラブ次回例会は、臨海4R合同例会です。
日時：12月3日（金）12：30～13：45
会場：東武ホテルレバント東京 4階「錦の間」

※12月1日（水）は、例会はございません。